

令和6年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第2講座を開催して】

8月9日(金)、秋吉公民館大会議室において、令和6年度美祢市人権教育ふれあい講座(第2講座)を開催しました。

『高齢者問題』をテーマとして、山口県立こころの医療センター 院長 兼行 浩史(かねゆき ひろし)氏から、「認知症を抱えた人と共生する社会のために」と題して、御講演いただきました。



90歳以上で半数を超える人に症状が現れる『認知症』は、果たして『病気』なのか?という問いかけから始まった御講演は、超高齢社会を目の前にしている美祢市にとって、多変貴重なものとなりました。誰もが安心して共生できる美祢市を目指していきたいと思います。

【受講者の主な感想】

- 認知症は本人は何もできないと、まわりが全てするのではなく、本人に意思、希望を尊重することが大切であると思いました。ハード面、ソフト面ともに認知症にやさしい地域づくりをしなければならぬと思いました。認知症予防のためだけでなく、心身ともに健康であるために、ウィルビーイングな状態を目指そうと思います。
- 山口県の医療センターについて知ることで、少し安心材料となった。
- とても、興味のある内容でした。これから美祢市は高齢化の加速が止まらないと思います。認知症の方を支えるのは、家族だけでは難しくなってくると思います。そのためにも、地域で支える仕組みを作っていくことは、大きな課題ではないでしょうか?ぜひ、これからもこういった内容の講座は増やしてほしいと思います。
- 大変分かりやすいお話でした。認知症の種類や治療、当事者、家族の立場など、様々な話を凝縮して聞いて、とてもよかった。
- 内容がわかりやすくてよかった。70代の母に今日の話をして運動をすすめたり、食生活について気をつけるよう話したりしようと思った。
- 高齢者問題について、人ごとではないと思いました。また、教育の現場でも活かせる考えがたくさんありました。相手の困り感を考え共感的に接していくことが大切だと思いました。あ

りがとうございました。

- 認知症の症状や、症状の改善方法についてわかりやすく知ることができました。ありがとうございました。
- 講演を聞いて、高齢の母の人格を尊重しながら寄り添えるようになりたいと思いました。
- 兼行先生のお話が、理論的、かつ実践的で大変よかったです。過度に怖れず、周囲や自身の認知症に向き合うことができそうな気がしてきました。認知症は、本人や家族のみが関わるものではなく、社会全体で取り組んでいかななくてはならないものだと考えます。誰もが尊厳をもって天寿をまっとうできる社会を一人一人がつくっていける資質を磨くためにも、若い人も含め、多くの方に聞いてもらいたい講座だと思いました。
- 実際に認知症医療に携わっておられる先生のお話には、得るところがたくさんあり、聞きに来て良かったと感じました。ありがとうございました。
- 講師の先生が医療機関の方であったからか内容が具体的で、ためになってわかりやすかった。
- 親や自分のこれからの姿、心構えを考えさせられました。また、サポートの体制もきけて安心しました。
- 母が脳梗塞を発症し、現在の様子が脳血管性認知症のように思われます。本講座を聞き、対応を含め、知識を深めようと思いました。
- 山口県の現状と今後について考えさせられた。誰でも老いていくので、誰にでも優しい社会になれば良いと思いました。
- 両親も高齢になってくる中で、身近に起こってくることでもあります。専門的なお立場からの、また様々な角度からのお話で、興味深く聞かせていただきました。